誘致企業（2015年1月～3月）

2015年5月1日発行
第28号

	企業名	本社所在地	立地場所	業種等
①	(株)ムロオ	広島県	糟屋郡粕屋町	コンビニエンスストア向け加工食品等の保管、配送
②	日本生命保険相互会社	大阪府	福岡市	顧客総合窓口（コールセンター）
③	平和自動車工業（株）	北九州市	行橋市	樹脂製自動車部品の成型、塗装及び組み付け
④	北九食品加工 （有）	中間市	鞍手郡鞍手町	業務用和菓子の製造
⑤	（株）ノブハラ	岡山県	大牟田市	ワイヤーメッシュ・鉄筋格子の製造
⑥	（株）福岡中央青果	福岡市	福岡市	青果物の小口仕分加工及び配送
⑦	（株）ミルクワークス	福岡市	福岡市	手作りクレープの製造・販売
⑧	久留米運送（株）	久留米市	大刀洗町	自動車部品、半導体、医療関連品などの配送
⑨	デジタルゲイト（株）	東京都	久留米市	コールセンター
⑩	九州福山通運(株)	長崎県	糟屋郡久山町	企業向け一般小口貨物の配送
⑪	小島プレス工業(株)	愛知県	宮若市	自動車内外装樹脂製品の製造

福岡県への主な進出企業について

②日本生命保険相互会社（本社：大阪府）が、東京都、大阪府に次ぐ第3の拠点として、福岡市にコールセンターを開設することが決定。平成27年6月に操業開始予定。

④大福やわらび餅などの業務用和菓子の製造を行う北九食品加工有限会社（本社：中間市）が、本社工場の拡張移転のため鞍手町に新たな工場を建設することが決定。平成28年3月に操業開始予定。

⑤土木・建築工場のコンクリート強度補強や防獣対策用フェンスに用いられるワイヤーメッシュ等の製造を行っている、株式会社ノブハラ（本社：岡山県）が大牟田市のみなと産業団地に新たな工場を建設することが決定。新規雇用は15名を予定、平成27年6月に操業開始。

（写真）左から株式会社ノブハラの延原代表取締役と古賀大牟田市長

⑩福山通運株式会社子会社で、北部九州（福岡、佐賀、長崎、大分）エリア内を中心に主に企業向けの一般小口貨物配送事業を行っている九州福山通運株式会社（本社：長崎県）が久山町の原工業団地（民有地）に物流拠点を新設することが決定。平成29年4月に操業開始予定。

⑪自動車の内装・外装に係る樹脂製品の製造を行う小島プレス工業株式会社（本社：愛知県）が宮若市の磯光工業団地内に新たな拠点の設立が決定。平成29年春頃に操業開始予定。

有効求人倍率

		全国	福岡県	地域別			
				福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域
2012年度		0.82	0.72	0.73	0.81	0.60	0.63
2013年度		0.97	0.83	0.88	0.83	0.67	0.77
2014年度	12月	1.14	1.06	1.22	1.09	0.83	0.98
	1月	1.14	1.05	1.26	1.12	0.84	1.00
	2月	1.15	1.05	1.27	1.13	0.81	1.02

（出典：福岡労働局「平成27年3月27日発行　雇用失業情勢（平成27年2月分）について」）
※全国及び福岡県の数値は季節調整値（地域別は原数値）

福岡県企業立地情報

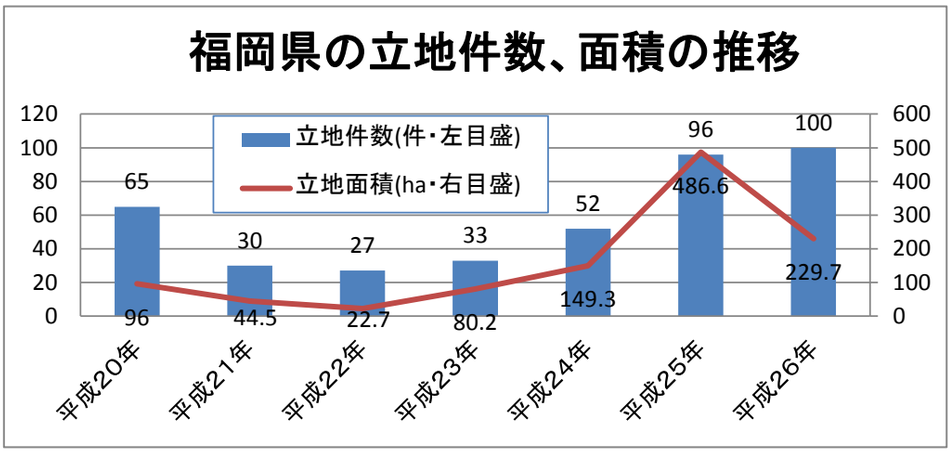
（1）工場立地動向調査について

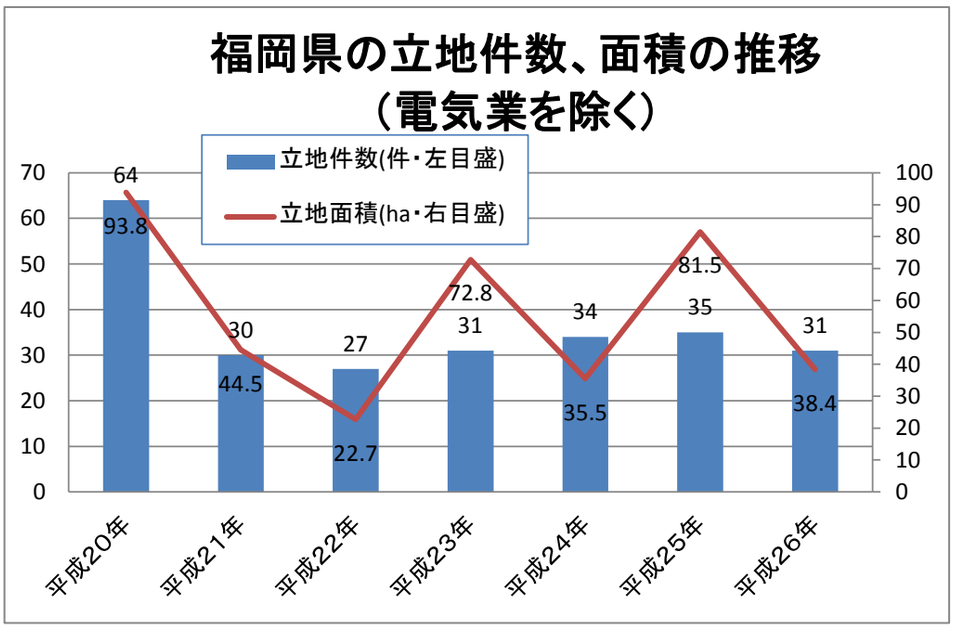
平成26年（2014年）の福岡県立地件数は全国5位、面積は全国10位

経済産業省が3月27日に発表した工場立地動向調査によると、平成26年の福岡県への工場立地は、件数で全国5位の100件（前年96件）、面積では全国10位の約230ha（前年約487ha)となりました。

前年同期と同様、引き続き太陽光発電を目的とした電気業の立地は高い水準にあります。

なお、電気業を除いた工場立地件数では、全国10位の31件（前年35件）、面積では全国12位の約38ha（前年82ha）となっています。





（2）工業団地について

「新松山臨海工業団地」分譲開始しました！

～北九州地域の生産物流拠点としての更なる発展を目指して～

苅田港に位置する「新松山臨海工業団地」約40haの分譲を4月から開始しました。

新松山臨海工業団地は、半径5km圏内に、東九州自動車道苅田北九州空港IC、重要港湾苅田港、24時間利用可能な北九州空港を擁し、陸海空の輸送が可能な国内最大級の臨海工業団地です。

南海トラフ巨大地震などで想定される津波の高さより高く造られており、災害に強くBCP（事業継続計画）の観点からも最適な工業団地です。

周囲には自動車をはじめとする高度な技術力を有する企業が集積し、理工系の人材も豊富な地域です。またグリーンアジア国際戦略総合特区の区域にも指定されています。

県としては、これらのポテンシャルを最大限に活かしながら、企業誘致を積極的に進めてまいります。

（写真）新松山臨海工業団地と
その周辺に立地する工場など

（3）立地企業について

一蘭の森、ソフトバンクモバイル株式会社コールセンターを視察

2月3日、小川知事は、有限会社一蘭の製造工場「一蘭の森」と、ソフトバンクモバイル株式会社の「西日本カスタマーコミュニケーションセンター」を視察しました。

「一蘭の森」は、平成26年5月に糸島市に移転、拡張したもので、県民の雇用や住民の交流スペースの提供など、地域貢献にも尽力されています。

工場では、吉冨代表取締役社長から説明を受けたほか、生産ラインの見学を行いました。

ソフトバンクモバイル株式会社のコールセンター「西日本カスタマーコミュニケーションセンター」は、平成25年4月に、東京と大阪に分散していた総合案内担当部署を福岡市に集約、新設したものです。

センターでは、山畑センター長から説明を受けたほか、センターの見学を行いました。

（写真）左から有限会社
一蘭の吉冨代表取締役
社長と小川知事

（写真）右からソフトバンク
モバイル株式会社の山畑
センター長と小川知事

福岡県の先端成長産業関連トピックス

「水素先端世界フォーラム2015」を開催！

2月3日、九州大学伊都キャンパスで、燃料電池自動車（FCV）の市販開始後初となる「水素先端世界フォーラム2015」が開催されました。

フォーラムでは、FCVの普及、水素ステーションの整備に弾みをつけるため、日米欧のトップメーカーの開発責任者や第一線の研究者から、ビジネス戦略、最新の研究開発動向についての講演が行われました。

出席した小川知事は、県の水素・燃料電池分野に対する取り組みを紹介するとともに、「福岡県としては、これまで産学官一体となって培ってきた実績と基盤の上に立って、企業の皆さまを後押ししていきたいと考えています。中小企業の皆さまにも、この分野にどんどん参入していただきたい」と挨拶しました。

（写真）挨拶する小川知事

福岡県FCV公用車始動！～九州で初めてFCVを公用車に導入～

県では、地元経済界や企業、大学、行政等が一体となって「ふくおかFCVクラブ」を設立、FCV（燃料電池自動車）の普及促進を行っています。2月12日、究極のエコカーであるFCV「トヨタMIRAI」が九州で初めて県公用車として導入され、県庁で、県とふくおかFCVクラブ主催による出発式が開催されました。

福岡トヨタ自動車株式会社金子社長からゴールデンキーを受け取った小川知事は自らFCV公用車を運転しました。本格的な水素エネルギー社会の到来に向けて、さらなるFCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に進めてまいります。

（写真）右から金子福岡トヨタ自動車代表取締役社長、毛利トヨタ自動車株式会社専務役員、加地県議会議長、麻生ふくおかFCVクラブ代表、小川知事

（写真）納車された
FCV公用車

福岡の経済トピックス

250億円のプレミアム付き地域商品券を発行！

県では、個人消費を一層喚起し、商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、国の交付金を活用し、市町村と連携して商店街等が発行するプレミアム付き地域商品券の発行を支援しています。発行規模は、昨年度の2倍の250億円に拡大し、県内すべての市町村で発行予定です。

地域商品券は、必ず地域の商店街や商店で使われることから、地域の消費が喚起され、地域経済に直接的な効果があるほか、商品券の発行に合わせて、商店街によるさまざまな工夫も多く行われ、商店街の活性化につながる効果が期待されます。

県としては、発行支援の取組みを着実に推進し、地域の消費を喚起して、地域経済の活性化を図ってまいります。

「福岡アジアコレクション2015」を開催！

今回で7回目を迎えるリアルクローズ（おしゃれな日常着）のファッションイベント「福岡アジアコレクション」（主催：福岡アジアファッション拠点推進会議）が3月22日、福岡市で開催されました。

7000人を超える観客で埋めつくされた会場では、人気モデルやタレント、県が運営する多言語ウェブサイト「アジアンビート」のネット投票で選ばれた中国、タイ、ベトナム、台湾のカワイイ大使などが最新ファッションで登場する華やかなショーのステージが繰り広げられ、若い女性らを魅了しました。

小川知事は、韓国釜山経済振興院院長キム・ビョンチュウ氏、福岡アジアファッション拠点推進会議 末吉会長（福岡商工会議所会頭）らと福岡アジアコレクション（FACo）の海外展開の促進や今後の連携について意見を交換するとともに、福岡の若手デザイナーやアパレルブランドのステージを観覧しました。

（写真）ステージの様子（フィナーレ）

その他の話題

福岡が「ラグビーワールドカップ2019」の開催都市に決定！

3月2日、アイルランド・ダブリンでラグビーワールドカップ2019の開催都市の発表が行われ、全世界に生中継で放送された開催都市発表の様子を、「ラグビーワールドカップ2019福岡招致委員会」が視聴しました。

そろいの法被を着て、固唾をのんで結果を見守る中、ダブリン（アイルランド）にいる組織委員会の嶋津事務総長から「福岡」の名が読み上げられた瞬間、会場は一気に歓喜に包まれました。

その後の会見で小川知事は、「ダブリンに私たちの熱い思いが届いた。署名活動をはじめ、県民の皆さまのご支援、ご協力があったからだと思っております。県民の皆さまに心から感謝申し上げます」と述べました。

2019年の大会開催に向け、日本の関係者や、県内市町村の皆さんと連携して大会の成功に向けて取り組みを進めていきます。

（写真）歓喜の瞬間

東九州自動車道（豊前IC～宇佐IC）開通式

3月1日、東九州自動車道（豊前IC～宇佐IC）の21．1キロメートルが開通し、開通式典が行われました。

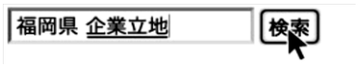
開通式典には、小川知事をはじめ、大分県の広瀬知事、また福岡・大分の両県の地元国会議員や地元県議会議員、沿線市町の首長、国土交通省、経済界など約400人が出席しました。

出席者は、上毛PAから大分県境の山国川橋まで通り初めを行なった後、山国川橋上でテープカットを行い、開通を祝いました。

（写真）テープカットの様子

福岡県への企業立地に関するお問い合せ先

福岡県商工部企業立地課（発行元）
〒812-8577福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL.092-643-3441　FAX.092-643-3443　E-mail：kigyo@pref.fukuoka.lg.jp
東京事務所・東京企業誘致センター
〒102-0083東京都千代田区麹町1-12ふくおか会館
TEL.03-5215-7161　FAX.03-3263-7474　E-mail: toukyou-o@pref.fukuoka.lg.jp
大阪事務所
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階
TEL.06-6341-3627　FAX.06-6341-3622　E-mail:oosaka-o@pref.fukuoka.lg.jp
名古屋事務所
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル7階
TEL.052-262-6938　FAX.052-262-6945　E-mail:nagoya-o@pref.fukuoka.lg.jp

工場等の事業所用地・優遇制度の詳細はHPで

「福岡県企業立地情報」　http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp